



貸事業所 “オリナスかわまた”



令和 8 年度

# 川俣町の わかりやすい予算



川俣町



子育てコミュニティセンター “マザッテ”



## 〈目次〉

<b>01</b>	ごあいさつ	1
<b>02</b>	当初予算の概要	2
<b>03</b>	川俣町振興計画とまちの予算	6
<b>04</b>	令和8年度の重点事業	7
<b>05</b>	基本目標別令和8年度の主な事業	12

町では、町の予算の概要と主な事業について、町民の皆さんにお気軽にご覧いただけるよう、本書『川俣町のわかりやすい予算』を作成しております。

令和8年度は、第6次川俣町振興計画の4年目、第2期実施計画の初年度として、町の将来像である「みんなの笑顔と若い活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち」を実現するため、引き続き前期基本計画における4つの重点施策に関連する事業を中心として、各事業の内容や財源を精査の上、必要な予算を配分したところです。

重点施策の「子育て支援」においては、子育てコミュニティセンター「マザッテ」の開設により、子育て支援・こどもまんなか社会の実現・地域コミュニティづくりの中心となる施設として、町民に親しまれる施設運営を目指すとともに、認定こども園において、「こども誰でも通園制度」や病児保育などの、時代のニーズに合わせた新たな子育て支援策をスタートします。

「移住・定住」においては、引き続きワンストップ相談窓口の設置や移住者に対する各種支援金の交付、地域おこし協力隊の活用を継続しながら、各種イベント等を通じた町外への情報発信を積極的に行うとともに、町内に点在する空家解体後の空き地等への住宅新築に対する支援金の創設により、移住・定住を促進します。また、廃園・廃校の利活用事業として、旧飯坂小学校の改修工事に着手し、地域の風土・文化を未来に伝える体験・交流拠点施設として整備し、関係・交流人口の拡大を目指します。

「活力ある産業」においては、貸事業所「オリナスかわまた」の運営開始により、中心市街地の活性化と新たな産業・雇用の創出を図るとともに、町内の中小企業が実施する物価高騰対策事業等への補助金の創設や、農業担い手育成のための各種支援の実施、有害鳥獣による農作物被害防止対策の強化により、商・工・農業の一層の振興を図ります。

「みんなの生きがいづくり」においては、大綱木公民館の建て替えにより、地域における生きがいづくり活動のさらなる活性化を図るとともに、民間企業と連携した生活習慣病予防対策事業等の実施により、町民全体の健康づくりを促進します。

また、原子力災害からの復旧・復興事業としては、山木屋地区防災まちづくり拠点施設をオープンし、隣接するとんやの郷と一体となった、新たな防災・コミュニティの拠点として、震災・原発事故により希薄となった地域コミュニティのさらなる再生を図ります。

その他、DXのさらなる推進、消防屯所の建て替えや自主防災組織への補助等による防災力の強化、体育館・公民館への空調設備の設置による熱中症対策など、今の時代にふさわしい多様なアプローチによる事業を展開してまいります。

本書をご一読いただき、今年度の町の予算や各種事業について、理解を深めていただければ幸いです。どうぞご覧ください。

令和8年5月

川俣町長 藤原 一二



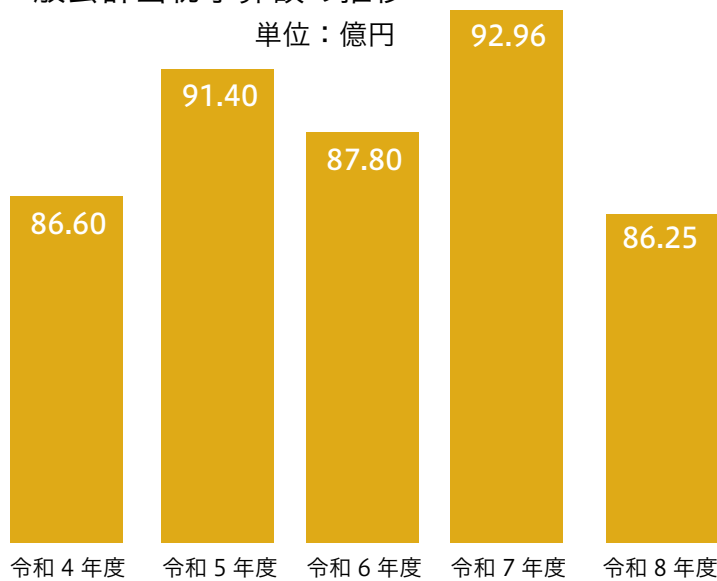
## 一般会計の予算規模

町民の皆さんに密接に関連する基本的な行政サービスの収入と支出を経理する「一般会計」の令和 8 年度当初予算の総額は、86 億 2,500 万円となり、前年度当初予算額 92 億 9,600 万円に比べ、6 億 7,100 万円（7.2%）の減額となりました。

**予算総額** **前年度対比（増減額）**

**86 億 2,500 万円** **▲ 6 億 7,100 万円**

一般会計当初予算額の推移  
単位：億円



### 基礎知識①

#### 予算って何ですか？

予算とは、町の 1 年間の収入と支出の計画です。新しい年度が始まる前に、1 年間（4 月から翌年 3 月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積ります。これらの内容をまとめたものが予算書です。川俣町に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼びます。

## その他の会計の予算規模

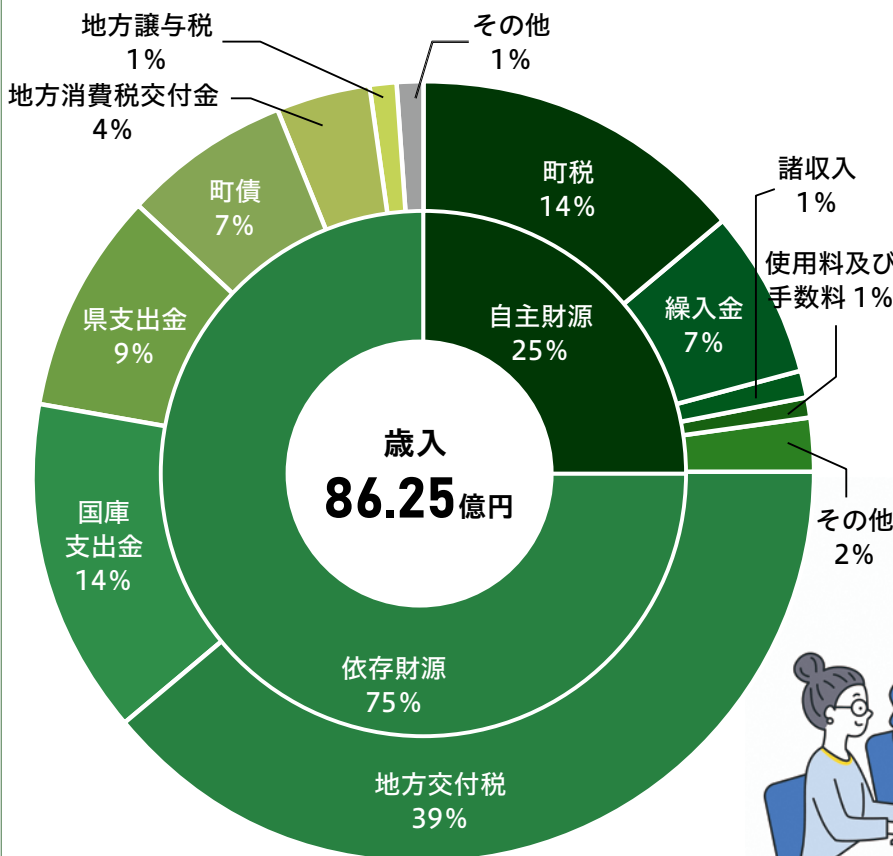
特定の目的や事業に関する収入と支出を経理する「特別会計」と、町が運営する公営企業の収入と支出を経理する「企業会計」の令和 8 年度当初予算は、下記のとおりです。

区分	予算額	前年度対比(増減額)	事業内容	
特別会計	国民健康保険特別会計 事業勘定	14 億 3,183 万 2 千円	▲ 2,491 万 5 千円	国民健康保険に加入している方への医療費等の給付
	国民健康保険特別会計 施設勘定	1,543 万 2 千円	▲ 266 万 1 千円	山木屋診療所の管理運営
	介護保険特別会計	20 億 5,416 万 5 千円	▲ 742 万 6 千円	65 歳以上の要介護・要支援者の方への介護サービスの給付
	後期高齢者医療特別会計	2 億 5,717 万 1 千円	3,592 万 5 千円	75 歳以上の方への医療費等の給付
	奨学資金特別会計	1,136 万 6 千円	▲ 145 万 1 千円	奨学資金の貸与
	工業団地造成事業特別会計	2,212 万 6 千円	増減なし	中山・西部工業団地等の維持管理
	財産区特別会計 (5 財産区)	4,406 万 5 千円	▲ 15 万 8 千円	小島、飯坂、大綱木、小綱木、山木屋財産区の財産管理
公営企業会計	水道事業会計 (収益的支出)	2 億 8,395 万 3 千円	962 万 8 千円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理

## 一般会計歳入予算

令和8年度一般会計当初予算における歳入予算の内訳は、下記のとおりです。

項目	説明	金額	前年度対比（増減額）
<b>自主財源</b>	町が自主的に調達する財源	21億 4,636万 9千円	▲ 6,391万円
町税	町に納めていただく税金	11億 8,755万 4千円	740万 5千円
分担金及び負担金	事業経費の一部を受益者の皆さんに負担していただくお金	4,802万円	1,332万 7千円
使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際にいただくお金	8,165万 4千円	528万 2千円
繰入金	各種基金（預金・運用資金）の取り崩しや特別会計から収入するお金	6億 834万 9千円	1億 511万 5千円
その他	寄附金、町の財産貸付収入、前年度からの繰越金、その他の諸収入金	2億 2,079万 2千円	▲ 1億 9,503万 9千円
<b>依存財源</b>	国・県から交付される財源や町債（借金）	64億 7,863万 1千円	▲ 6億 709万円
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国や県に納めた税金の一部を国や県が町に再配分するお金	38億 8,115万 5千円	▲ 1億 7,173万円
国・県支出金	町の特定の事業に対し、国や県が補助・負担するお金	19億 7,097万 6千円	▲ 5億 1,856万円
町債	銀行等から借り入れするお金	6億 2,650万円	8,320万円
<b>計</b>		<b>86億 2,500万円</b>	<b>▲ 6億 7,100万円</b>



### 基礎知識② 予算は誰が決めるの？

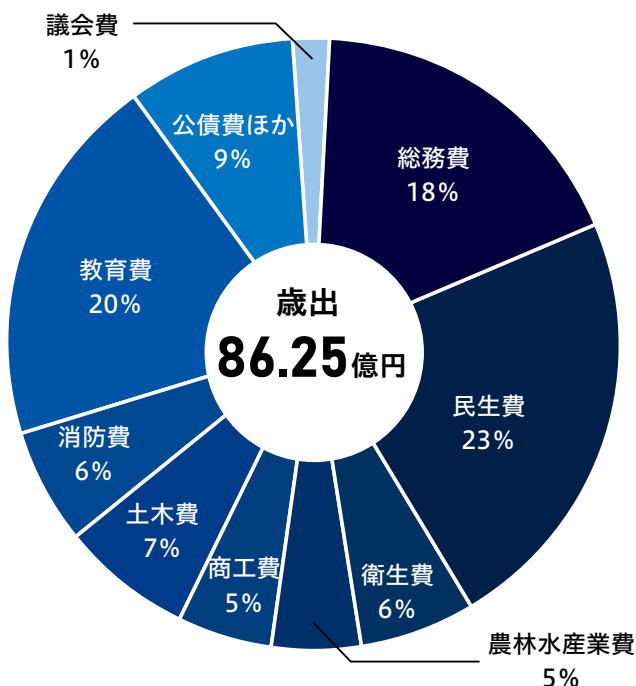
町長は、各担当課で見積った歳入・歳出の案をまとめて、予算案を町議会に提出します。提案された予算案を町議会でいろいろな面から審議し、最終的に議決により予算が決定されます。



## 一般会計歳出予算【目的別】

令和8年度一般会計当初予算における、お金を使う目的別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

項目	説明	金額	前年度対比 (増減額)
議会費	議員報酬や議会事務局職員の人件費などの議会運営に使うお金	1億3,080万円	1,747万1千円
総務費	財政、税務、戸籍、選挙、交通対策及び原子力災害対策など町政全般の管理運営に使うお金	15億5,748万8千円	▲9億9,982万4千円
民生費	児童・高齢者・障がい者などの福祉や地域医療対策、子育て支援及び社会福祉協議会との連携などに使うお金	19億9,485万8千円	9,761万3千円
衛生費	検診や予防接種などの保健衛生や循環型社会の形成、地球温暖化対策、ごみ処理などの環境保全及び火葬場運営に使うお金	5億406万3千円	▲1,323万5千円
農林水産業費	農業・林業・畜産の振興や有害鳥獣対策、森林整備や農道・林道などの新設・維持管理に使うお金	4億8,142万7千円	▲3,965万1千円
商工費	商工業の振興や観光、移住・定住、道の駅や工業団地の管理などに使うお金	4億47万7千円	▲4,100万8千円
土木費	道路、河川、公園及び公営住宅などの新設・維持管理や空家対策などに使うお金	5億7,861万5千円	2,531万7千円
消防費	屯所の整備などの消防団に係る経費や火災、風水害、地震等への防災・災害対策に使うお金	4億8,516万3千円	▲6,227万2千円
教育費	認定こども園、小・中学校、学校給食センターや公民館、体育施設など教育・文化・スポーツ振興に使うお金	17億329万2千円	2億9,448万2千円
災害復旧費	地震や台風などの災害により被災した施設の復旧に使うお金	0円	増減なし
公債費	国や銀行等から借り入れた借金（町債）の返済に使うお金	7億6,881万7千円	5,010万7千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	増減なし
<b>計</b>		<b>86億2,500万円</b>	<b>▲6億7,100万円</b>



### 基礎知識③

#### 予算案ってどうやって作るの？

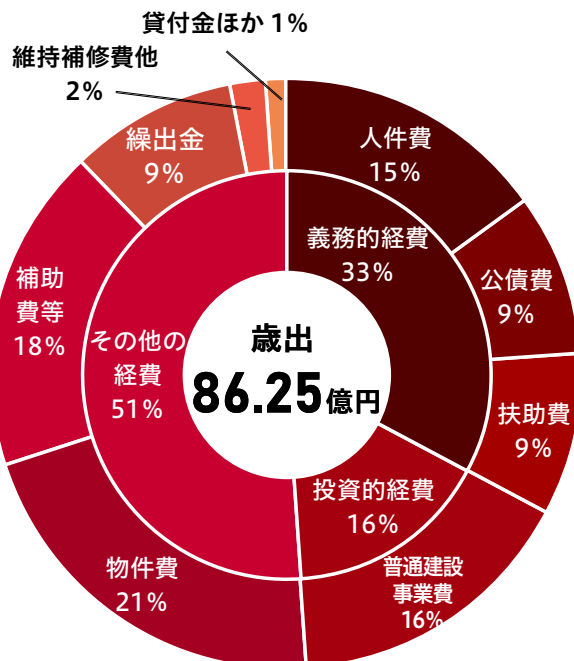
町長の政策方針を基本に、財政状況や町が定めているさまざまな計画などにそって策定します。限られた財源を有効活用するため、事業実施の優先順位をつけることがとても重要になります。



## 一般会計歳入予算【性質別】

令和8年度一般会計当初予算における、お金を使う性質別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

	説明	金額	前年度対比 (増減額)
<b>義務的経費</b>	法令などにに基づき毎年必ず支出する経費	28億4,913万4千円	7,105万1千円
人件費	議員報酬や委員報酬、職員の給料などにお金	13億3,442万5千円	▲463万5千円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金の返済にお金	7億6,881万7千円	5,010万7千円
扶助費	児童や生活困窮者などを援助するために使うお金	7億4,589万2千円	2,557万9千円
<b>投資的経費</b>	道路や建物などの社会資本の整備にかかる経費	13億9,939万円	▲8億4,454万4千円
普通建設事業費	道路や公共施設の整備に使うお金	13億9,939万円	▲8億4,454万4千円
災害復旧事業費	災害により被災した施設の復旧に使うお金	0円	増減なし
<b>その他の経費</b>		43億7,647万6千円	1億249万3千円
物件費	光熱水費、消耗品、委託料などにお金	17億7,189万円	1,211万5千円
補助費等	各種団体への補助金や負担金	15億5,909万6千円	7,389万5千円
繰出金	特別会計の収入を補うために支出するお金	7億7,623万円	2,434万7千円
維持補修費	道路や公共施設の維持管理に使うお金	1億5,094万8千円	2,079万3千円
貸付金	中小企業の経営合理化のため町が貸付するお金	7,000万円	▲3,000万円
積立金	各種基金(貯金・運用資金)への積立金	2,831万2千円	134万3千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	増減なし
<b>計</b>		<b>86億2,500万円</b>	<b>▲6億7,100万円</b>



### 基礎知識④

#### 一度決められた予算は 変えられないの？

地震や台風等の自然災害が発生した場合等、想定外の経費増加がある場合には、それに対応するため変更の予算案を作り、当初予算と同じように町議会へ提出し、審議のうえ議決により補正予算が決定されます。補正予算は、通常は、6月、9月、12月、3月の定例町議会に提案しますが、定例町議会以外にも、臨時議会での議決により予算を変えることもできます。

## 第6次川俣町振興計画とまちの予算 **川俣町振興計画** とは

町の総合的な指針であり、目指すべきまちづくりの方向性を示す計画です。  
町では、**令和5年度から令和16年度**を期間とする『第6次川俣町振興計画』を策定しております。

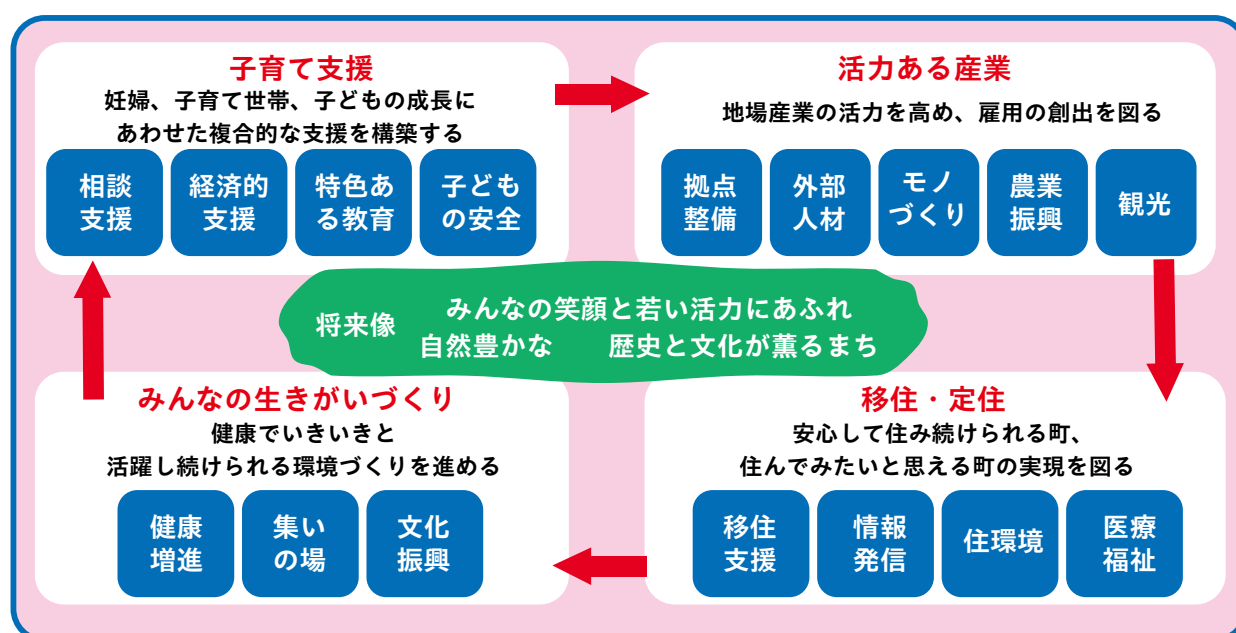
振興計画は「**基本構想**」、「**基本計画**」、「**実施計画**」で構成され、「基本構想」は令和16年度を目標とし、まちづくりの基本的な理念を定めています。

「基本計画」は6年ずつ前期、後期に分けられており、令和5年度から令和10年度を期間とする前期基本計画においては、特に重点的かつスピード感を持って分野横断的に推進していくべき**4つの重点施策**と、まちづくりを総合的に推進していくうえで目指すべき**6つの基本目標**を定めています。

また、国が推進する「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、デジタル技術を活用し、社会課題の解決や町の魅力向上の取組を進めていくこととしております。町はそれらの重点施策と基本目標をもとに様々な事業を推進し、町が目指す将来像である『**みんなの笑顔と若い活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち**』の実現を目指しております。

妊娠から入学まで、子どもの成長に合わせた複合的な「子育て支援」をスタートとして、「活力ある産業」の振興により、雇用の創出を図るとともに、町内外からの「移住・定住」を推進し、みんなが健康でいきいきと「生きがいづくり」ができるよう、各施策を展開することにより他の施策に好循環をもたらし、町の発展や町民の活動・交流の広がりにつながるよう努めます。

### 【第6次川俣町振興計画における4つの重点施策】



# 子育て支援

少子高齢化と人口減少による活力低下をくい止め、持続可能な社会を実現するため、子どもを生み育てるための様々な支援や環境を充実させ、次世代の人材を確保していきます。若い世代をはじめとして、出会い、結婚から

出産、子育てのあらゆる段階における支援の充実を図ります。さらに、次世代を担う子どもたちが心も身体も健全にすくすくと成長し、豊かな学びを得ることができるよう取組を総合的に推進します。

子育て支援

新規  継続

## 子育てコミュニティセンター「マザッテ」の開設

予算 **928万4千円** 財源 補助 291万円  
町 637万4千円

ファミリーサポートセンター事業の実施のほか、地域コミュニティ活動、高齢者サロン活動、多世代交流事業など、住民が主体となって、つながりあい支えあう活動の拠点となる施設「マザッテ」の運営をスタートします。



移住・定住

新規  継続

## ニーズに合わせた新たな子育て支援策の開始

予算 **2,283万2千円** 財源 補助 1,134万7千円  
町 1,148万5千円  
※一部、普通交付税措置

認定こども園において、「こども誰でも通園制度」、「障がい児保育」、「病児保育」等の、時代のニーズに合わせた新たな子育て支援策を開始します。



新規  継続

## かわまた認定こども園 利用料・給食費の無償化

予算 **3,433万5千円** 財源 町 3,433万5千円  
※一部、ふるさと納税を活用しています

町独自の助成で0～2歳児の保育料・3～5歳児の給食費を無償化し、子育て世帯の負担を大きく軽減します。



活力ある産業

生きがいづくり

新規  継続

## 川俣高校学生寮の移転整備

予算 **1億1,442万円** 財源 補助 4,885万6千円  
借入 5,210万円  
町 1,346万4千円

地域みらい留学を活用した全国生徒募集による受け入れを拡大するため、川俣高校学生寮の移転整備を行います。



新規  継続

## 小・中学校給食費の無償化

予算 **4,015万5千円** 財源 補助 1,813万2千円  
借入 1,110万円  
町 1,092万3千円

町内小・中学校の給食費を完全無償化します。



その他

※町が実施している子育て支援関連事業及び拠点施設の概要は17ページをご覧ください。

# 移住・定住

本町に住まう人々が住み慣れた地域で暮らし続けたいと思うまちづくりを進め、生活の様々な場面において快適な環境を確保し、定住を促進します。

また、本町の個性や魅力を広く効果的に発

信し、町外からの移住を促進するとともに、町外に住みながら本町へ定期的に通うサテライトオフィスやワーケーションなど多様な町外人材との新たな関わりを創出する取組を推進します。

子育て支援

移住・定住

活力ある産業

生きがいづくり

その他

新規  継続

## 多種多様な 移住・定住促進事業

予算 **9,532万1千円** 財源 補助 6,209万8千円  
町 3,322万3千円

移住・定住に係る情報発信やワンストップ相談窓口の運営、体験農園の運営、移住体験ツアーの実施、町外からの移住者に対する支援金の交付などを行います。



新規  継続

## 空家跡地等の 住宅新築への支援

予算 **1,000万円** 財源 町 1,000万円

空家解体後の空き地等への住宅新築に対し、支援金を交付します（※移住・定住支援交付金の拡充）。



新規  継続

## 地域おこし協力隊の 受け入れ・活用

予算 **8,406万6千円** 財源 町 8,406万6千円  
※特別交付税措置

地域活性化事業や農業等に従事する地域おこし協力隊の受け入れ・活用を行うほか、任期満了者が町内で起業や事業継承を行う際の支援を行います。



新規  継続

## 体験・交流拠点施設へ 旧飯坂小学校の改修

予算 **2億円** 財源 補助 1億5,000万円  
町 5,000万円  
※震災復興特別交付税措置

地域の風土・文化の伝承とスポーツ振興を通じた地域活性化を目的とした、体験・交流拠点施設として利活用するため、旧飯坂小学校の改修を行います。



# 活力ある産業

みなさんが本町に魅力を感じて暮らし続けられるよう、地場産業の活力を高め雇用機会の創出を図ります。

中心市街地の活性化や既存産業の経営基盤の強化に加え、福島イノベーション・コース

ト構想との連携や企業誘致、起業支援による新たな産業の創出に向けた取組を推進していきます。

そのほか、充実した就労環境を確保するための取組も推進します。

子育て支援

移住・定住

活力ある産業

生きがいづくり

その他

新規  継続

## 川俣町貸事業所「オリナスかわまた」の開設

予算 1,975万1千円 財源 町 1,975万1千円

事業者の活動拠点として、貸オフィス、チャレンジショップ、コワーキングスペース、簡易宿泊室等を備えた「オリナスかわまた」の運営をスタートします。



新規  継続

## 農業担い手育成総合支援事業

予算 2,944万4千円 財源 補助 2,880万円  
町 64万4千円

農業担い手の確保のため、認定就農者等へ支援金を交付します。新規事業として、新規就農者へのサポート体制を整備する事業への補助を行います。



新規  継続

## 中小企業への支援

予算 500万円 財源 町 500万円

中小企業が実施する物価高騰対策等の事業への補助を行います。



新規  継続

## 道の駅かわまた内施設のリニューアル

予算 2,000万円 財源 町 2,000万円

老朽化が進んでいる「おりもの展示館」、「からりこ館」の改修及び展示内容のリニューアルを行うため、実施設計を策定します。



# みんなの生きがいづくり

誰もがまちづくりを支える担い手として、いきいきと活躍し続けることができる環境づくりを進めます。

年代や性別に関係なく、住民一人ひとりが社会の一員として生きがいをもって、暮らし

ていくことができるよう、多角的な取組を推進します。様々な交流や地域活動への参画、生涯学習による学び続けることができる環境づくり、スポーツへの参加促進など、活躍の場や機会の拡大を推進します。

子育て支援

移住・定住

活力ある産業

生きがいづくり

その他

新規  継続

## 地域交流の拠点 大綱木公民館整備事業

予算 **1億5,653万円** 財源 借入 1億5,650万円  
町 3万円

老朽化が進んでいる大綱木公民館の建て替えを行います。



新規  継続

## コスキン開催 50回 記念プレ・イベントの開催支援

予算 **150万円** 財源 町 150万円

令和9年度に開催50回を迎えるコスキン・エン・ハポンを記念した、プレ・イベントの開催を支援します。



新規  継続

## 民間企業と連携した 健康づくりイベントの開催

予算 **669万9千円** 財源 補助 438万7千円  
町 231万2千円

民間企業と連携したスマートドリンク推進事業や生活習慣病予防対策事業等の健康づくりイベントを開催します。（※一部、企業版ふるさと納税を活用予定）



新規  継続

## 長寿のみなさまへ 長寿祝金の給付

予算 **2,834万円** 財源 町 2,834万円

長寿を祝福し、いきいきと充実した生活の一助となるよう、祝金を給付します。



# その他の重点事業

子育て支援

## DXの推進

デジタル技術を積極的に取り入れ、どの世代にも使いやすい行政サービスの向上を図ります。



新規  継続

### GIGA スクール構想の推進

予算 9,319万6千円 財源 補助 2,813万2千円  
町 6,506万4千円

全国学力テスト・学習状況調査等のオンライン化に対応するため、小・中学校の校内 wi-fi 環境の整備を行うとともに、児童・生徒用タブレット端末の更新を行います。

新規  継続

### 自治体情報システムの標準化・共通化

予算 7,813万5千円 財源 町 7,813万5千円  
※一部、普通交付税措置

町民の利便性向上、行政運営の効率化のため、全国共通の標準化情報システムの運用を開始します。

移住・定住

## 防災・減災・公共インフラの強化

頻発化、激甚化する自然災害から町民の生命・財産と暮らしを守るため、防災・減災力の強化及び老朽化の進む公共インフラの整備・維持補修を図ります。



新規  継続

### 消防団施設の整備・強化

予算 9,765万円 財源 借入 9,530万円  
町 235万円

川俣町消防団第9分団屯所（小綱木）の機動力強化を目指した統合・建て替えを行います。



新規  継続

### 公営住宅の長寿命化改修

予算 4,605万8千円 財源 補助 1,980万円  
町 2,625万8千円

老朽化が進んでいる飯坂団地の屋根・外壁等の改修を行います。

活力ある産業

## 循環型社会・地球温暖化対策の推進

ごみ減量化対策や再生可能エネルギーの普及促進、熱中症対策等により、循環型社会の実現及び地球温暖化対策の推進を図ります。

新規  継続

### 中学校体育館の熱中症対策

予算 1億2,250万円 財源 補助 5,500万円  
借入 5,060万円  
町 1,690万円

川俣中学校体育館に空調設備を設置し、熱中症対策を図ります。



新規  継続

### 防災拠点施設の整備・運営

予算 7億2,037万7千円 財源 補助 5億4,028万2千円  
町 1億8,009万5千円  
(令和7年度からの繰越) ※震災復興特別交付税措置

安全安心な生活と地域コミュニティのさらなる再生を図るため、山木屋地区防災まちづくり拠点施設を整備し、運営をスタートします。



生きがいづくり

その他

# 基本目標別

## 令和 8 年度の主な事業

### この表の見方


事業名		新規・継続・拡充	
	担当課	総務課	
	事業費	80,000 千円	
	財源	補助	20,000 千円
		借入	45,000 千円
		町	15,000 千円
事業内容の説明			

- 令和 8 年度に要する事業費
- 国や県から入る補助金・負担金など
- 国や銀行等から借り入れするお金（町債）
- 皆さんからの税金や基金からの繰入、使用料など町が自主的に調達できるお金


### 基本目標 1

## みんなで助け合いながら 自分らしく生きるまち


地域づくりの主役は住民であるという基本認識のもと、互いに支え合う地域活動を活性化するための支援を行います。一人ひとりが地域活動への関心を高め、自治会等の地域の活動を基盤としてお互いに助け合いながら地域課題の解決やより良い地域社会の実現に取り組んでいきます。また、性別や年齢、出身地や障がいの有無などを超え、多様な背景を認め合い誰もが自分らしく生きることができる社会を構築します。

議会映像配信機器の更新		新規	
	担当課	議会事務局	
	事業費	1,969 万円	
	財源	補助	-
		借入	-
		町	1,969 万円
「開かれた議会」実現を目的とした、議会中継・映像配信機器の更新を行います。			

ふるさと納税の推進		継続	
	担当課	財政課	
	事業費	2,342 万 2 千円	
	財源	補助	-
		借入	-
		町	2,342 万 2 千円
ふるさと納税返礼品の新規開発や内容の充実、PRを行います。※寄附受入額 4,000 万円を想定			

デジタルデバイドの解消		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	120万2千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	120万2千円		

デジタル機器に不慣れな方を対象として、スマートフォン教室の実施や相談窓口の開設を行います。


デジタル窓口の開設		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	161万4千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	161万4千円		

役場に行かずにオンラインで問い合わせ・相談ができる「デジタル窓口」を開設します。


## 基本目標 2

# 安全で便利な生活と豊かな自然が共生するまち


日常生活の利便性を高めるための道路網や公共交通の充実、中心市街地の賑わい再生、ゆとりある暮らしのための住環境整備や公園、レクリエーションの場の確保など、特に若い世代にとって魅力を感じることでできるまちづくりを進めます。また、自然環境を貴重な資源として捉え、ふるさとの風土や里山などを守りつつ観光や交流促進において有効に活用していきます。さらに、世界的な取組である脱炭素化への取組として、住民生活や生産活動の様々な場面において二酸化炭素排出抑制を推進します。

地域公共交通の活性化		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	2,526万5千円	
	財源	補助	332万8千円
		借入	-
町	2,193万7千円		

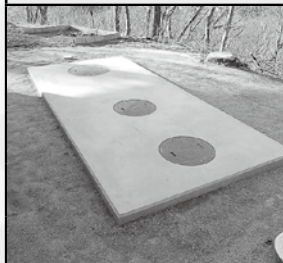
公共交通を維持するため、路線バスへの補助金の交付や、デマンドタクシーの運行を行います。

井戸掘削事業への補助		継続	
	担当課	町民税務課	
	事業費	960万円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	960万円		


飲用水確保のため井戸の掘削費用に対し補助を行います。


ごみ減量化の推進		継続	
	担当課	町民税務課	
	事業費	81万8千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	81万8千円		


ごみ減量化を図るため、生ごみ処理器設置費用への補助や資源回収団体への報奨金交付を行います。


合併処理浄化槽の設置促進		継続	
	担当課	町民税務課	
	事業費	2,062万6千円	
	財源	補助	1,044万7千円
		借入	-
町	1,017万9千円		


合併処理浄化槽の新設・設置替に係る費用に対し補助を行います。


再生可能エネルギーの普及促進		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	440万円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		440万円		
地球温暖化対策の推進のため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電池の設置費用に対し補助を行います。				


空家対策事業		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	1,358万6千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		1,358万6千円		
町内の空家の調査や、空家解体費用への補助等を行います。				


町道の整備		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	1億6,230万円		
	財源	補助	5,232万円	
		借入	1億920万円	
町		78万円		
町道5路線の整備・改良を行います。 ※改修箇所は次ページ参照				

橋りょうの長寿命化		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	7,876万円		
	財源	補助	2,158万1千円	
		借入	2,190万円	
町		3,527万9千円		
橋りょう長寿命化のための補修及びPCB被膜塗装の処分・塗り替えを行います。※改修箇所は次ページ参照				

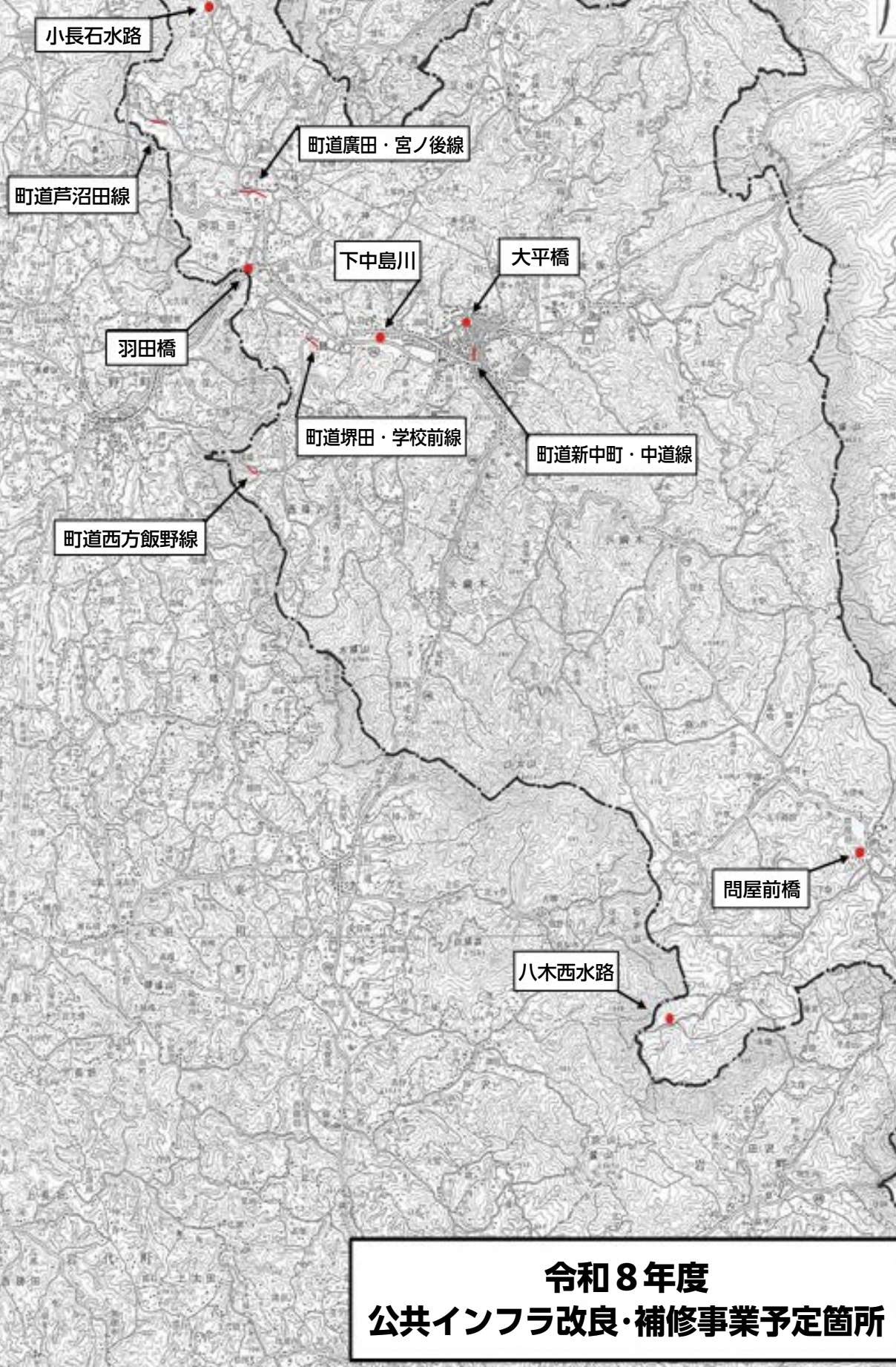
河川の維持管理		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	2,282万5千円		
	財源	補助	-	
		借入	1,540万円	
町		742万5千円		
河川の防災及び正常機能維持のための改修工事を行います。 ※改修箇所は次ページ参照				

川俣小学校体育館の熱中症対策		新規		
	担当課	学校教育課		
	事業費	350万円		
	財源	補助	-	
		借入	350万円	
町		-		
熱中症対策として、川俣小学校体育館に空調設備を設置するため、設計を行います。				

中央公民館の熱中症対策		新規		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	1,854万4千円		
	財源	補助	-	
		借入	1,850万円	
町		4万4千円		
熱中症対策として、中央公民館のロビーに空調設備を設置します。				

地区公民館の熱中症対策		新規		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	200万円		
	財源	補助	-	
		借入	200万円	
町		-		
熱中症対策として、福田公民館のロビーに空調設備を設置します。				


# 川俣町管内図





## 基本目標 3


# 子どもから高齢者まで元気で 安心して暮らせるまち


子どもから高齢者までそれぞれのニーズに的確に応える福祉の充実を図り、各種取組をさらに推進します。加えて、医療や介護の専門職の人材を育成・確保し、質の高いサービスが提供できるように医療・介護の体制整備の充実を図ります。特に少子高齢化が急速に進展する中で、出産や子育ての希望をかなえることができる環境を総合的に整えていきます。これらの取組の展開にあたっては、行政サービスに加え地域全体での見守りや子育てなど、様々な場面で多様な人々との協力体制を構築していきます。


重層的支援体制の整備			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	3,637 万円		
	財源	補助	2,163 万 9 千円	
		借入	-	
		町	1,473 万 1 千円	
地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備します。				


こども家庭センターの設置			継続	
	担当課	保健福祉課・子育て支援課		
	事業費	828 万 9 千円		
	財源	補助	493 万 4 千円	
		借入	-	
		町	335 万 5 千円	
妊婦、子育て世帯及び子ども本人に対する一体的な相談支援を行います。				


地域医療の維持			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	1 億 2,000 万円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
		町	1 億 2,000 万円	
地域医療維持のため、公的病院である済生会川俣病院へ運営補助を行います。※一部、特別交付税措置				

母子保健事業			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	882 万 5 千円		
	財源	補助	125 万 5 千円	
		借入	-	
		町	757 万円	
妊婦検診や乳幼児健診の実施のほか、不妊・不育症治療費への助成を行います。				

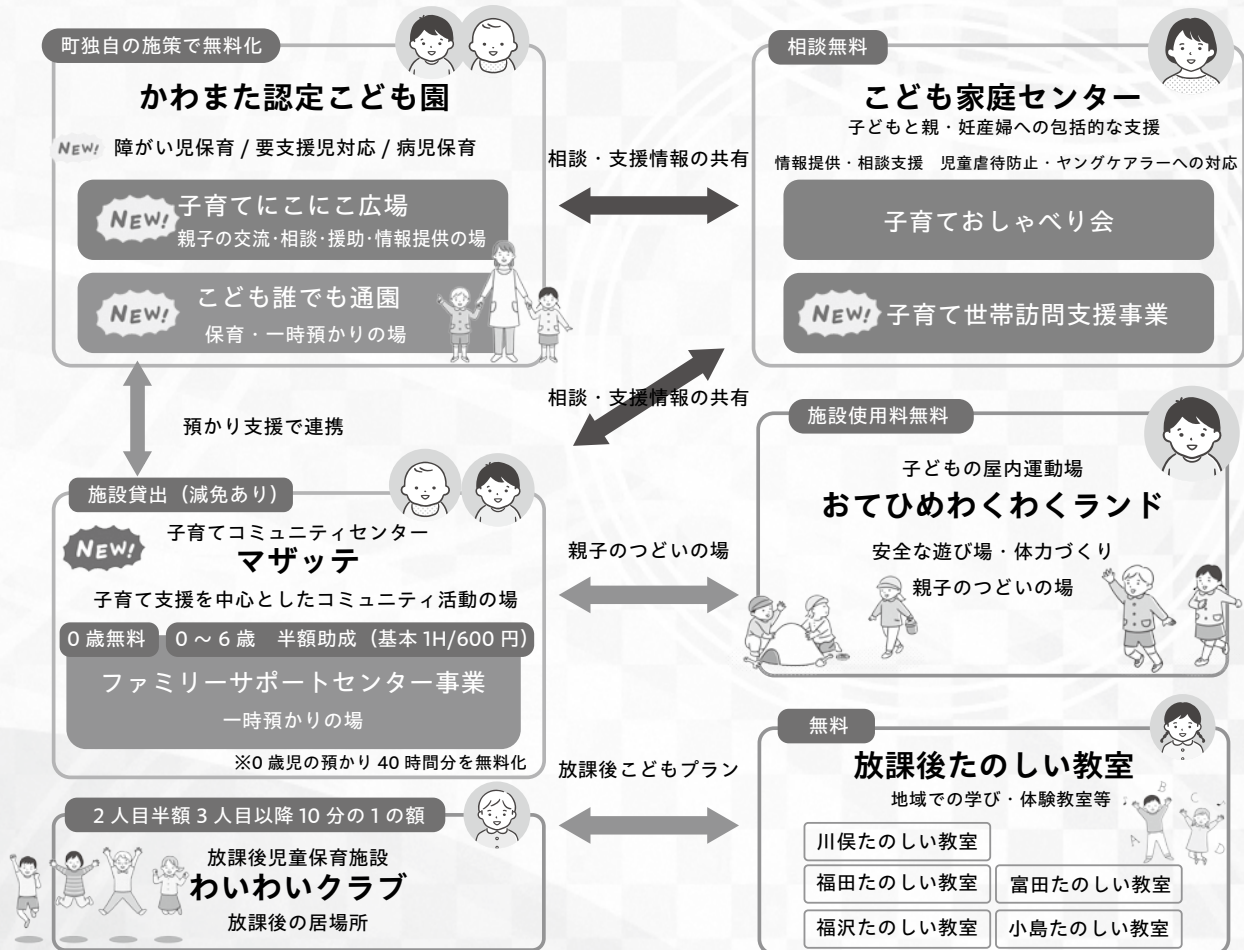
公園遊具の更新			新規	
	担当課	子育て支援課		
	事業費	382 万円		
	財源	補助	-	
		借入	270 万円	
		町	112 万円	
老朽化した公園の遊具を撤去・更新します。				

わいわいクラブの運営			継続	
	担当課	子育て支援課		
	事業費	2,972 万 4 千円		
	財源	補助	337 万 8 千円	
		借入	1,320 万円	
		町	1,314 万 6 千円	
放課後における児童の健全育成のため、放課後児童クラブの運営を行います。				

こども見守りサービスの提供		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	168万円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	168万円		
安心安全な通学のためのこども見守り端末・サービスアプリの提供を行います。			

おてひめわくわくランドの運営		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,851万7千円	
	財源	補助	1,264万1千円
		借入	-
町	587万6千円		
子どもの屋内遊び場の運営を行います。			

## 【R8年度】 川俣町の子育て支援関連事業と拠点施設の概要



子育てコミュニティセンター“マザッテ”





かわまた認定こども園

## 基本目標 4


# 充実した学びと 独自の文化を創造するまち


教育の場における ICT 化とグローバル社会に対応する多様な教育システムの導入を引き続き進めていきます。一方で、本町が紡いできた歴史や文化、芸術に触れる機会の充実を図るとともに、心豊かにたくましく生きていくための力を育むことができるよう、家庭、地域社会との連携強化による教育力の向上に努めます。さらに、生涯学習や生涯スポーツ活動を積極的に推進するとともに、地域に根ざした文化、伝統などの保存、伝承に努め、地域の素晴らしさを後世に伝えます。また、歴史・伝統文化を情報発信し、町外人材との交流を進め関係人口を増加させます。


川俣高校の魅力向上			継続
	担当課	学校教育課	
	事業費	2,397 万円	
	財源	補助	269 万 4 千円
		借入	-
町		2,127 万 6 千円	
全国生徒募集やフェンシング教室等の特色のある教育の実施により、川俣高校の魅力向上を推進します。			

中学校校舎の改修			継続
	担当課	学校教育課	
	事業費	5,000 万円	
	財源	補助	1,500 万円
		借入	2,620 万円
町		880 万円	
川俣中学校中央棟の男子トイレの洋式化改修を行います。			

奨学資金の減免			継続
	担当課	学校教育課	
	事業費	-	
	財源	補助	-
		借入	-
町		-	
奨学資金の借受者が町内に一定期間就業した場合、返還金を減免します。			

文化財の保護			新規
	担当課	生涯学習課	
	事業費	197 万 3 千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町		197 万 3 千円	
春日神社の彫刻等の色彩分析調査を実施します。			


前田遺跡国史跡指定事業			継続
	担当課	生涯学習課	
	事業費	234 万 9 千円	
	財源	補助	140 万円
		借入	-
町		94 万 9 千円	
前田遺跡の国史跡指定に向けた分析調査や報告書の作成等を行います。			


東北総合スポーツ大会関連事業			新規
	担当課	生涯学習課	
	事業費	66 万 9 千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町		66 万 9 千円	
東北総合スポーツ大会のフェンシング競技を川俣町体育館で開催します。			


## 基本目標 5


# 産業と働く人が いきいきと輝くまち


農林業については、農林業従事者の高齢化と担い手不足が深刻化していることから、引き続き農業生産物の高付加価値化、新たな販路の開拓に努め、遊休・荒廃農地については農地の集約、有効活用により未利用地の解消を図ります。工業については、近年主力となっている輸送用機械、金属機械加工、電子・機械部品製造などについて、技術力の向上や人材育成の支援を図るとともに、雇用の場を創出するための企業誘致を展開します。商業については、中心商店街のにぎわいの再生、空き店舗や空き家の活用による新たな交流の場の創出を図ります。さらに観光については、地域の自然資源や歴史・文化資源を生かした活性化に取り組みます。


モノづくり活性化事業		継続		
	担当課	政策推進課		
	事業費	416万4千円		
	財源	補助	312万3千円	
		借入	-	
		町	104万1千円	
産官学連携によるモノづくり技術の継承と革新のため、小学生を対象とした工場見学等を実施します。				

有害鳥獣被害対策		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	3,503万8千円		
	財源	補助	871万円	
		借入	-	
		町	2,632万8千円	
イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマ等からの農作物被害防止対策を行います。				

地産地消の推進		新規		
	担当課	農林振興課		
	事業費	175万円		
	財源	補助	100万円	
		借入	-	
		町	75万円	
町内産農産物を使用したメニュー開発を支援し、地産地消を推進します。				

農業用水路の維持修繕		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	1,220万円		
	財源	補助	-	
		借入	620万円	
		町	600万円	
農業用水路の維持修繕を図ります。				


農業用ため池の維持補修		新規		
	担当課	農林振興課		
	事業費	2,427万9千円		
	財源	補助	1,824万円	
		借入	-	
		町	603万9千円	
老朽化した松沢上ため池（鶴沢）の堤体の補修を行います。				


林道の整備		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	900万円		
	財源	補助	-	
		借入	900万円	
		町	-	
林道の整備・維持補修を行います。				


## 基本目標 6


# 原子力災害からの 復興を目指すまち

放射線に対する不安がなく、安全・安心に暮らすことができるよう、仮置場の原状回復に努めるとともに、必要な除染や放射線モニタリングを継続します。また、産業復興として、農林業や観光に今なお残る風評の払拭、ALPS処理水などにより懸念される新たな風評への防止対策に取り組みます。さらに、被害を受けた事業者が事業を再開・継続できるよう支援を行います。山木屋地区においては、地域の活力とコミュニティの再生に向けて、引き続き各方面からの復興を進めます。また、復興拠点商業施設「とんやの郷」を拠点として、避難者をはじめ町内外との多様な交流機会を創出し、地域の絆とにぎわいの再生を図ります。

営農再開への支援		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	7,344万8千円		
	財源	補助	7,344万8千円	
		借入	-	
町	-			
除染後農地の保安全管理、有害鳥獣被害防止対策等の営農再開への支援を行います。				

住民支援事業		継続		
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	629万6千円		
	財源	補助	532万8千円	
		借入	-	
町	96万8千円			
避難者への情報発信や、山木屋地区コミュニティ維持再生のためのイベントの開催等を行います。				

除染対策事業		継続		
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	2,781万2千円		
	財源	補助	2,781万2千円	
		借入	-	
町	-			
空間放射線量モニタリング等を実施します。				

食品のモニタリング		継続		
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	4,768万7千円		
	財源	補助	4,768万5千円	
		借入	-	
町	2千円			
食品の放射性物質モニタリング及びモニタリング結果の情報発信を行います。				





# 川俣町の将来像と基本目標 (第6次川俣町振興計画より)



## 川俣町のわかりやすい予算 令和8年度版



発行年月日: 令和8年5月

発行・お問い合わせ先: 川俣町財政課